令和２年司法試験　合格体験記

２０１９年度修了（既修コース）東原　佑翔

15 期既修の東原佑翔と申します。岡山大学法学部を卒業し、そのまま同大学法科大学院に入学しました。その後、令和２年３月に岡山大学法科大学院を修了し、同年８月に行われた司法試験に合格することが出来ました。私からは、この場を借りて、在校生への司法試験受験に当たってのアドバイス、周りの方への感謝を簡潔に述べさせて頂きます。

まず、在校生に対しての受験上のアドバイスについて、受験生活を送る上での態度面に限定して、２点ほど述べさせて頂きます。まず第１点は学校に来ることが大事だと思います。学校に来ることによって、周りの同期・先輩と情報を共有しやすくなりますし、同期たちが勉強している姿を見て、刺激を受けて自分も頑張らないといけないなとお互いに触発されることにもなるためです。実際、私も学校に毎日来て勉強していたことで、色々な方から情報を頂き、前向きな刺激も、貰いながら勉強を進めることができました。

２点目は、合格者の先輩や先生方が開いてくださっている課外ゼミには必ず参加することが重要です。これらの課外ゼミは、司法試験の過去問を扱っていただける場合が多く、とても実践的な勉強ができるのに加え、合格者の人がどのように問題を解いているのか、思考を確認できる点でとても有益だと考えております。実際、私自身も、学部生２年生の頃から米山先生のゼミにお世話になり、ロースクールに入学してからも、先生方の課外ゼミや、合格者の課外ゼミに参加させてもらっており、この課外ゼミにおいて合格するためにはどのような勉強をすればいいのかが掴めてきたように感じます。

次に、周りの方への感謝を簡潔に述べさせていただきます。家族、身近で支えてくれた人、法科大学院の教員の皆さま、合格者の同期・先輩、同期の友人たち、事務の方々のお陰様で、私は受験勉強を続けることができ、結果として合格することができました。これらの支えてくださった方々のために、今後は自分が色々なものを還元できるように精進していく所存で御座います。